自動車運転評価モデル事業実施状況

資料５

１．事業実施目的

高次脳機能障がい者自動車運転評価モデル事業は既に自動車運転免許証を取得している高次脳機能障がいの方が、安全に運転を再開できるかを考えていただくとともに、大阪府公安委員会（運転免許試験場適性試験係適性相談コーナー）に提出するための診断書を取得することを目的とし、医師による診察、神経心理学的検査、自動車学校での運転技能評価などを実施している。

２．実施状況

　１）事業開始時期　　　平成26年9月

　２）事業参加人数　　　66名（平成26年9月～平成30年3月31日時点）

　３）相談窓口 大阪府障がい者自立相談支援センター　　40名

　　 堺市立健康福祉プラザ生活リハビリテーションセンター　　26名

４）実施状況表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | | \*H30.3末までに事業受け付けた人のH30.5末時点の状況 | | | | | | |
| 主な  運転目的 | 人数 | 年代 | | 継　続　中 | 事業中止 | 医師診断書  結果 | 公安委員会の結果 | 公安委員会における判断  概ね1年後の運転  の有無※ | |
| 運転して  いる | 運転して  いない |
| 仕事 | 31名 | 10～30代：5名  40～50代：22名  60～70代：4名 | |  | STEP1：2名（本人・家族の申し出による）  STEP2：1名（医師の判断による）  STEP3：1名（神経心理学的検査の結果による）  STEP4：2名（実車評価による） | ○：24名  ×：　1名 | ○：24名  ×：　1名 | 8名 | 3名 |
| 通勤 | 6名 | 10～30代：1名  40～50代：5名 | |  | STEP4：1名（実車評価による） | ○：5名 | ○：5名 | 3名 | 0名 |
| 日常  生活 | 29名 | 10～30代：6名  40～50代：17名  60～70代：6名 | | 4名 | STEP1：1名（本人・家族の申し出による）  STEP4：5名（実車評価による） | ○：19名 | ○：19名 | 4名 | 4名 |
| 合計 | 66名 | 10～30代：12名  40～50代：44名  60～70代：10名 | | 4名 | STEP1：3名  STEP2：1名  STEP3：1名  STEP４：8名 | ○：48名  ×：　1名 | ○：48名  ×：1名 | 15名 | 7名 |
|  | | | ※大阪府障がい者自立相談支援センターが相談窓口となった事例のみ | | | | | | |

　５）公安委員会における判断から概ね1年後に自動車運転をしていない理由（主なもの）

　　・実車評価を受けるまでは運転しても大丈夫だと思っていたが、実際に乗ってみると怖かったため。

　　・運転してみたいが、家族から「リスクが大きい」と止められているから。

　　・てんかん発作が起きたため。